



運航再開後の訓練機



設置された空港気象表示装置

独立行政法人 航空大学校 仙台分校様 学校再開されました。

我が国唯一の公立エアラインパイロット養成機関である独立行政法人 航空大学校仙台分校様は、仙台空港敷地内にあります。

3月11日の東日本大震災による津波で、校舎の冠水や訓練機7機が被災する等、甚大な被害を受けました。中でも、職員の方々は仮設事務所から執務を取られ、また残された機体を宮崎本校に移して一部訓練を再開する等、総力をあげて復旧に取り組まれてきました。

明星電気は、訓練機の運航に不可欠な気象情報を提供する空港気象表示装置の復旧を担当し、被災から約7ヶ月後にその設置が完了しました。現在は、エアラインパイロットを目指す学生が訓練飛行のために活用しています。

(当社営業担当: 東北支店 中山 敦子)



ワークショップ会場の様子



ワークショップに参加した当社従業員

インドネシア CO2 ワークショップ開催

9月22日～24日、インドネシアのパランカラヤで開催されたワークショップに当社から技術部員2名、営業部員1名の計3名が参加しました。泥炭地域の森林火災・カーボンマネジメントに関する口頭発表、ポスター発表が行われる中で、当社は光ファイバー分光器を使用して太陽光の物理測定を行うことにより大気中のCO2カラム濃度を計測する装置FES-Cについて発表しました。また、CO2フラックスタワーの見学など、泥炭地域の野外調査も行いました。

このFES-Cは、安価で設置や維持が容易なため観測網の飛躍に拡充され、地球温暖化問題に貢献することを目的とした装置として期待されています。

明星電気は、国際的なワークショップに参加することで、世界の環境計測事業をリードしていくことを目指しています。

(当社営業担当: 新市場開拓グループ 前田亮太)



赤外線天文衛星「あかり」イメージ



観測処理回路部

赤外線天文衛星「あかり」活躍！

2006年2月22日に打ち上げられ、今年6月に運用を停止した日本初の赤外線天文衛星「あかり」の観測データから、約137億年前の宇宙誕生の後、宇宙で生まれた最初の星の光を観測していたことが、10月21日に宇宙航空研究開発機構(JAXA)様より発表されました。

詳しくは、JAXA様のHPをご覧ください。

<http://www.ir.isas.jaxa.jp/AKARI/Outreach/results/PR111021/pr111021.html>

「あかり」には、当社が開発を担当した遠赤外線観測装置電子回路部、近・中間赤外線カメラ、そしてカメラを冷やす冷凍機用制御装置が搭載され観測に寄与しています。ここでも明星電気の宇宙観測装置が、天体科学のために役立てられています。

(当社営業担当: 官公ソリューション営業部 小林 忍)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～人と社会の豊かな環境づくりに貢献する～を
テーマに水中から宇宙までをカバーする世界のトータルソリューションプロバイダーを目指します。